



ご本尊は阿弥陀如来

浄土真宗のご本尊は阿弥陀如来です。

ご本尊には形の上で、絵像と木像、さらに「南無阿弥陀仏」の名号本尊がありますが、一般的には、絵像ご本尊をおかけすることが多いようです。中央にご本尊、両脇に「お脇懸（ワキガケ）」という軸をかけます。

お脇懸は、向かって右側に宗祖「親鸞聖人」、左側に本願寺中興の祖「蓮如上人」のご画像をおかけします。または、右側に「帰命尽十方無碍光如来」と書かれた十字名号、左側に「南無不可思議光如来」の九字名号をおかけすることもあります。ご本尊、お脇懸は本願寺からお受けします。「町版」と呼ばれるご本尊を求めることもできますが、商品のように購入することはひかえたいものです。ご本尊を本願寺からお受けする時は、お取り次ぎのお寺にご相談ください。



お供え

◆お仏飯を供える

（毎朝）ご飯が炊けたら、お仏飯を真鍮製の仏飯器に蓮のつぼみの形に盛り、いちばん最初にお供えします。お供えしたお仏飯は、昼までにお下げし、家族でいただきます。



◆お茶は供えない

浄土真宗ではお茶は供えません。水を供える場合には華瓶（ケビョウ）を用い、櫛（シキミ）もしくはそれに似た青木をさします。華瓶のないお仏壇の場合には、お仏飯だけでよいのです。

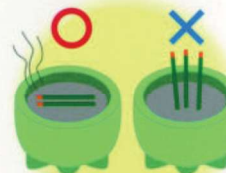


◆その他のお供え

果物や菓子など、食べられるものは、お供えしてから家族でいただくようにしましょう。ただし、酒類、コーヒー、煙草などの嗜好品、魚や肉などの生臭ものは避け、陰膳（カゲゼン）はやめましょう。お供えの大きさはお仏壇にあわせて。

お線香

あたりを清らかにし、私たちの心身までもすがすがしく、安らかにしてくれるお香。浄土真宗では、線香を香炉の大きさに合うように折り、必ず灰の上に寝かせます。灰の上質なものを食べ、線香は消えずにすみます。



お仏壇に入れてはならないもの

◆他宗の仏像は入れない

浄土真宗は阿弥陀如来一仏に帰依することを教えています。阿弥陀如来は一切の仏・菩薩の根本の仏さまで、阿弥陀如来に心から帰依すれば、すべての仏さまを尊ぶことになるのです。お仏壇の中へ、他宗の仏像や高僧像、さらに水子地藏やおみやげで買ってきた仏像、観音像なども入れないようにしましょう。



◆お札を入れない

他宗のお寺や神社などにお参りして「厄除開運御守」とか「家内安全御守護」「護摩供御札」などと書かれたお守りやお札をもらってくる人がいますが、これらはお仏壇の中へ入れてはダメ！ 玄関や柱などにも貼らないように。手近に幸福を求めようとする手前勝手な現世利益（ゲンゼリヤク）はもっとも浄土真宗の教えにそむくものです。



◆位牌は置かない

いはい
（地域によっては俗習で位牌を用いる場合があります）

浄土真宗では位牌を使わず、法名を過去帳に記入し、命日にその日の頁を開けるようにします。もしも位牌があれば、お仏壇の上段とかご本尊の前面に置かないようにし、早く過去帳を備えるようにしましょう。



◆故人の写真は入れない

亡き人を楽しみ、感謝することはとても大切なこと。けれどもお仏壇の中に生前の写真を飾ってはいけません。亡き人がすでに浄土に生まれ、仏さまとなり、仏さまの働きをされていることに気がつかないことになりま。なお、写真を部屋に飾る場合は、お仏壇の真上は避けましょう。

◆お骨をいつまでも置かない

お仏壇は納骨堂ではないのです。お骨は時期をみて、お墓や納骨堂へ。分骨する場合は京都の大谷本廟（西大谷）へ納めます。



『浄土真宗本願寺派安芸教区 広陵東組「お仏壇のお飾り」より』

※この小冊子について分からないことがあれば、お取り次ぎのお寺にお問い合わせください。

題字：小山実千代（伯東寺坊守）

御笠組 組長

西蓮寺住職 中川 正法
(釋正法)



本年度より御笠組組長に就任いたしました。

組内寺院はじめご門徒の皆さまとともに、コロナ禍で失ったふれあいの精神を取り戻しながら「あらゆる人々が自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現」に向け、実践活動に取り組んでまいります。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

副組長(事務局)

光蓮寺住職 芳村 隆法
(釋隆法)



二〇二四年度から御笠組副組長(事務局)に就任いたしました。

御笠組は福岡教区内でも有数の組活動が活発な地域です。それは浄土真宗を伝えたい！聞きたい！という、ご門徒・僧侶方の熱が受け継がれてきた証しだと思います。私もその熱を継ぐ御同朋のひとりとして、微力ながら尽力していく所存です。

副組長(会計)

教門寺住職 花園 正智
(釋正智)



昨年度まで四年間、副組長(事務局)として勤めさせていただきました。

事務局長(会計)として勤めさせていただきます。事務局で経験した事を活かし、御笠組の維持発展に精進してまいります。

教区会議員(門徒)

栄法寺門徒 石内 孝典
(釋正教)



前期に続き、教区会議員を務めさせていただきます。

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)の推進を教区会議員として、本山・教区と組・各寺院とのつながりやお伝えの役目ができればと思っています。御笠組の皆様のご指導とご協力をよろしくお願い致します。

教区会議員(僧侶)

西正寺住職 山内 真隆
(釋真隆)



御笠組の僧侶・門徒方の貴重なご意見やご提案をいただき、あらゆる人々が自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現を目指していきけるよう務めたいと思います。よろしくお願い致します。

案をいただき、あらゆる人々が自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現を目指していきけるよう務めたいと思います。よろしくお願い致します。

組協議員(天拝ブロック)

栄法寺住職 石松 昭信
(釋昭信)



この度、天拝流れの協議員をさせていただきます。

ことになりました栄法寺の住職です。何かと戸惑うことも多いと思いますが、お念仏の輪を広げるお手伝いが少しでもできるように頑張らせて頂きます。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

組協議員(宝満ブロック)

安紹寺住職 田代 浄明
(釋浄明)



御笠組宝満ブロックの組協議員を担当することになりました。

安紹寺住職の田代浄明です。組の協議員を務めるのは初めてなので分からない事も多いですが、色々学ばせて頂けたらと思います。

組協議員(四王寺ブロック)

来光寺住職 益永 隆寛
(釋隆寛)



今年度より四王寺ブロックの組協議員のご縁をいただきました。

最近、御笠組でもそれぞれのお寺でも、コロナの影響で休止をしていましたが、様々な活動が再開を始めたのを感じています。微力ではありますが、親鸞聖人のみ教えを伝えるお手伝いが出来ますよう務めさせていただきます。

各宗寺院御用達、仏壇製造販売、墓石設計・施工・販売

お仏壇のまつお

有限会社 松尾仏具本店

瀬高本店	TEL.0120-62-3721	久留米店	TEL.0120-46-5754
	FAX.0944-62-5900	お仏壇工房まつお	TEL.0944-62-3721
大牟田草木店	TEL.0944-57-7141	墓石展示場	TEL.0944-62-3721
春日店	TEL.0120-82-5620		http://www.matsuobutsudan.com

大規模葬から家族葬まで...

もしもの時に安心な...互助会会員募集中

(株)のがみ **善光会館** 筑紫会場

筑紫野市杉塚6丁目11-1 Tel 921-4242(代)

門徒代表者協議会会長

光伝寺門徒 岡部 臣英
(釋英信)

今年から御笠組門徒代表者協議会会長を拝命致しました光伝寺の岡部臣英(釋英信)です。

お寺との御縁が出来たのは四十九歳で役員になってからです。組の連続研修にも出席し様々な所で、聴聞させて頂き気付いた事は仏様から願われた命を恵まれ念仏申す事の尊さです。

前門様が九州大会でお見えになられた折、組の役員さん達と正信偈をお勤めした事も良い思い出です。

今年から大役を引き受ける事となりましたが宜しくお願いします。

寺族婦人会(坊守会)会長

西正寺坊守 山内 真理子
(釋妙理)

本年度より二年間、御笠組坊守会長をつとめます。御笠組では二ヶ月に一度坊守会を開き、教区や組での活動に参加しています。また、学習会で浄土真宗のおみを深くいただくことにつとめています。

仏教壮年会会長

明福寺門徒 八尋 正喜
(釋正蓮)

令和五年度会長に就任し二年目となります。コロナ禍を乗り越え、今年五年ぶりに「新春のつどい」を開催し、改めて会員相互の交流を深めることができました。

年二回の研修会も今年度から新しい教本(浄土真宗必携 み教えと歩む)でスタートします。諸先輩方のご指導を受け、各寺院会長の皆様と力を合わせて浄土真宗のみ教えを学び、実践活動につなげていきたいと思っています。何卒よろしくお願い致します。

今年度より引き続き御笠組仏教婦人会会長を務めさせていただきます。

仏教婦人会会長

正栄寺門徒 伊藤 絹子
(釋絹翠)

今年も引き続き御笠組仏教婦人会会長を務めさせていただきます。

仏婦会員は年々減少しております。どうぞお知らせの方等にお声かけをし、一緒に御寺に行きましよう。そして聴聞し、み法の友の輪を広げましよう。

本年度も、皆様のご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

門徒推進員連絡協議会会長

西蓮寺門徒 入江 一孝
(釋現教)

昨年度より引き続き、門徒推進員連絡協議会の会長をさせていただきます。

ただ今ことになりました。

御笠組門徒推進員連絡協議会では年二回の研修会等を行なっていました。が、昨年度まではコロナ禍の為、活動が出来ず、ようやく五類となり皆さんと集まることが出来ました。

これからは、会員の方々とより良い内容で活動させて頂けるよう、よろしくお願いいたします。

れんけん修了者のつどい会長

西福寺門徒 原 十三日
(釋麗日)

コロナウィルスが五類に移行して、徐々に皆様の新しい思いが伝わるようになってきたと思います。その第一が先日「連続研修」の修了式に参加して感想を聞く中、若い修了生が希望を持ち輝いていることを実感しました。中央教修で学んできた方、今後参加される方、当時の自分と一緒に過ごした。これから、話を重ねて聞くことで共に進んでいきます。

組織教化部部長

正栄寺住職 七里 哲也
(釋哲也)

御笠組の「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)組織教化部長

の七里でございます。組織教化部の取り組み方針として、より多くの方達に参加して頂けるように、研修会のテーマや時間帯などをしつかり協議し、教化団体として活動を広めていきたいと思っています。どうぞ四年間よろしく願います。 合掌

同朋部部長

西福寺住職 和田 法明
(釋法明)

前回より引き続き同朋部長のご縁を頂きました。同朋部では「いのち、人権を阻害するもの(迷信・差別・戦争・環境破壊など)」について毎年積み重ねていくような研修内容を取り組めます。皆様と共に学ばせていただきます。どうぞよろしく願います。

寺院機能部部長

伯東寺住職 小山 至朗

(釋至朗)



「門徒代表者
協議会」「れんけ
ん修了者のつど
い」「門徒推進員

連絡協議会」の三部門の皆様と共に、阿弥陀如来の本願を究極の拠り所として生きられた親鸞聖人に学び、常に全員が聞法し、宗門が掲げる「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)を積極的に取り組む組織作りを目指して行きます。

連続研修部部長

願応寺住職 中川 一晃

(釋一晃)



連続研修会は、
み教えを通して
自己を見つめ、何
を大事に生きて

いくかをみんなで語り合いながら考える研修会です。今年は準備期間で来年から開講予定です。ちよつと先にはなりますが日程が決まりましたらご案内いたします。ここではスペースの関係上、多くをお伝え出来ませんので研修会の詳細と魅力はご案内の時にたつぷりと！どうぞよろしくお願ひします。

青少年育成部部長

西正寺衆徒 山内 大道

(釋大道)



二期連続で部
長になりました
西正寺です。コロ
ナが五類になり

色んな活動が再開している中、青少年育成部も子供たちとのお寺のふれあい、浄土真宗にふれる機会を更に多く設け、仏縁に出逢うことの有り難さや尊さなどを伝えていければと思います。

渉外広報部部長

円徳寺住職 宮崎 達映

(釋達映)



この度、「渉外
広報部長」を拝
命しました圓徳
寺住職です。内

容は「みかさ組報」年二回発行し、現在までに七〇号まで発行しています。本山・教区・組内などの研修内容を中心に掲載させてもらっています。また、永代経・報恩講法要一覧表の配布・ホームページ更新も行っています。これからも組報を多くの皆様に読んでいただきたいと思います。

教区実践運動委員

大願寺住職 藤山 厚慈

(釋厚慈)



今年度より教
区実践運動委員
のご縁をいただ
きました。

若輩者ではありますが、親鸞聖人のみ教えを伝えるお手伝い、そして、皆さまと一緒にお念仏をいただきたいと思います。

教区社会福祉推進協議会評議員

正栄寺衆徒 七里 称羽

(釋称羽)



福岡教区社会
福祉推進協議会
は主に研修、募
金活動を行って

おり、各教化団体と連携しています。なにかお尋ねがあればいつでもお声掛けください。御笠組にて呼びかけをさせていただく時はどうぞよろしくお願い致します。





はせがわ

つなぎます。心と、いのちと、人。

霊園・墓所・墓石のご相談も承ります。

太宰府インター店 太宰府インター
グッドイソバ ☎092-503-0800



お仏壇のつが

太宰府店 [駐車場完備]

太宰府市青葉台3丁目27-4 ☎(092)923-8080

安楽寺に坊守を迎えて

安楽寺住職
高城睦慈(釋睦慈)

この度、高城睦慈(安楽寺住職)は、坊守として愛(旧姓 村崎愛)と、二〇二三年七月六日に結婚を致しました。

結婚に際しましては、御笠組のご住職、安楽寺のご門徒の皆さまや多くの方々にも多分なお祝いを頂き有難うございました。

私が坊守に出会ったのは、結婚する一年前でした。三十代も後半になると「住職は何時になったら結婚するかね？」等と云われる様になった時、たまたま彼女を紹介して頂きました。

そして私たちは、木村大信様(光伝寺住職)のご媒酌人・田代浄明様(安紹寺

住職)の司婚者により、自坊(太平山安楽寺)にて、仏前結婚式を執り行いました。

これからは、住職として、坊守と力を合わせ、ご門徒の皆様と一緒に安楽寺の護持運営に努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



草^[SOUEN]苑

美しが丘 TEL 092-919-0880 FAX 092-919-0881
草 苑 筑紫野市美しが丘北3丁目12-4

お仏壇の **よーかどう**

お仏壇・仏具のご相談はお電話を！

筑紫野市二日市中央通商店街
☎092-924-1111

「御笠組巡番報恩講」をお迎えするにあたって

正栄寺住職 七里哲也(釋哲也)

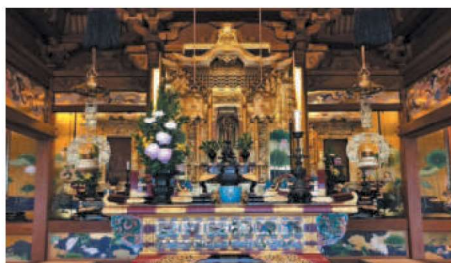
今年十月十九日(土)二十日(日)、正栄寺(乙金)に於いて、御笠組巡番報恩講をお勤めさせていただきます。

この法要は二百六十年ほど前から、一年に一回だけ御笠組の十八カ寺で巡番に勤めている、宗祖親鸞聖人のご命日をご縁とし、仏法を聴聞する伝統のある法要です。

二日目には稚児行列も行いますので、乳幼児から小学生の方で参加して頂ければ、ありがたい御法縁となります。仏法に出遭わせていただく大切なご縁ですので、たくさんの方にお参りいただけるよう、住職、寺族、総代、役員、門信徒会で準備を進めています

ので、どうぞお誘いあわせの上で参詣ください。

合掌



～大切な人を送る時、私たちができること～

ご葬儀を真心込めてお手伝いします

有限会社 **筑紫葬祭**

葬儀式場 セレモニー **筑紫**

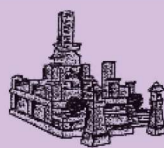


本社/セレモニー筑紫

〒818-0059 福岡県筑紫野市塔原東4丁目3-5

TEL 092-925-4444

FAX 092-925-4949



御墓石・記念碑・造園・石材加工・その他石工
設計・施工
石のことなら気軽に御相談下さい。

有矢ヶ部石材

代表取締役 矢ヶ部 清隆

筑紫野市大字本道寺106-4 ☎ 924-5574

(FAX) 924-8212

お盆のお飾りについて

西福寺住職 和田 法明

「お盆にはどのようなお飾りをすればよいのですか」と、尋ねられることがあります。これは、お盆独特の飾り方があるのではないかと問われてからでしょう。

確かに一部の風習では、精霊棚を作つて、お膳を用意するところがあるようですが、

浄土真宗ではそういったことはいたしません。一般の法要と同じように、菓子、果物といった供物を仏前にお供えし、前卓には打敷を掛ければよいでしょう。

ちなみに精霊棚というのは、先祖の霊を迎えてもてなすため用意する棚で、位牌を並べ、その前に精進料理のお膳や迎え団子、その他盛りだくさんの果物、野菜を供えるものです。また、ナスとキュウリにおがらをさして、牛と馬に見立

てます。これらは先祖の霊が乗るための乗物だそうです。

この精霊棚の前で行う読経が、いわゆる「棚経」と呼ばれているものです。つまり、先祖の霊を丁寧にもてなし、お慰めして追善回向しようとするのが、精霊棚の慣わしです。

しかし、こうした風習はお盆本来の由来から言えば少し筋違いではないかと思えます。

そもそもお盆とは、仏弟子の目連尊者が餓鬼道に堕ちた亡き母を救おうとして、その母に食物を与えるのですが救われず、お釈迦さまの導きで衆僧に供養して初めて救われた(その日が七月十五日)という故事から起こった行事です。すなわち、亡き母や特定の先祖に供物を捧げるというのではなく、自らが深く仏

法に帰依して、限

りなき仏さまのはたらきを仰いでいくということとでしよう。言い換えれば、ご先祖のご恩に報いる道は私自身が

お念仏を喜ぶ身となることです。ご先祖への報恩の思いから仏法を聞かせていただき、阿弥陀さまのお力によつて救われていく身の幸せを喜ぶのが浄土真宗のお盆です。

ですから、精霊棚を設けるのではなく、ご本尊の阿弥陀さまを心から仰ぎ、お供え等をしてください。なお、「棚経」という言い方もしません。

『新・仏事のイロハ』末本弘然 著 本願寺出版社 (P136)「お盆のお飾り」「精霊棚は用いません!」より



濱本 勝
ハマト マサル

遺品整理

セレモニーサポート太宰府
〒818-0110 福岡県太宰府市御笠5-7-19
TEL 092-929-5316
FAX 092-555-9822
携帯 080-1702-5221



誠心誠意を大切にします。もしものとき...



筑紫農業協同組合 (JA筑紫 共栄会 やすらぎ会館)

〒818-0057 福岡県筑紫野市二日市南2-1-3
TEL(092)924-3027/FAX(092)928-1394



組合員・NEW!にじの会 会員募集!!

二〇二四年度 門徒推進員中央教修を通して

大願寺 門徒推進員 下馬場 喜久代(釋 敬信)

この度、御笠組の連続研修を経て本願寺での中央教修(5月16日～19日)受講のご縁をいただきました。御笠組より、他五名の皆様とご一緒にきましたのは大変心強く有難いことでした。他教区からも十二名の受講生が門法会館に集い、寝食を共にしながらの三泊四日の教修は日々充実した貴重な体験でした。

「御同朋の社会をめざす運動」「門徒推進員という生き方」「念仏者としての生き方」等、浄土真宗の目標とする多様な活動を分かりやすくご教示くださいました。現在、全国に二万人を超える門徒推進員がいらっしゃるそうですが、高齢化による活動の難しさなど課題もあるようです。「門徒推進員としての活動

のみに縛られるのではなく、一人ひとりが、念仏者としての歩みを大切にしながら、自覚と主体性を持って生活していくことが重要です」とご指導くださいました。

話し合い法座ではテーマに添った問題提起に一人ひとりが真剣に向き合い、考えながらお互いの意見に耳を傾けました。心にある率直な本音を話すことで、少しずつ気持ちに楽になり、安心して聞いていただくことができました。仏法に照らして助言してくださるスタッフのお言葉は深く心に染みました。

中央教修で最も緊張したのは決意表明式でした。これからの私が歩んでいくうえでの指針となる決意ですから、しっかりと考え、お作法も何度も練習しました。本番では素直な気持ちを阿弥陀様にお伝えしました。

門徒推進員としての学びを求め、共に過ごした皆様と無事に全過程を修了し、それぞれの心の喜びや気付きが沢山あつたように思います。再会を約束して笑顔と涙の内に閉会式、懇親会、解散となりました。

個人的には、帰敬式を受式し、お釈迦様の仏弟子となれたことがなにより嬉しく、身の引き締まる思いです。「仏・法・僧」の三つの宝を心に留め、生涯の依りどころとしながら浄土真宗の門徒として、お聴聞、お念仏を大切に生きていきたいと思っています。

末筆になりましたが、真心の込めつたご指導で私達を中

央教修にまで導いて下さいました御笠組連研スタッフの皆様、いつも温かく見守り、支えて下さる各寺院の皆様、誠に世話になりました。心より感謝申し上げます。



前回70号までを節目として、約12年間の表紙写真・解説は、西蓮寺住職・中川正法様が、お釈迦様の生涯を連載して下さいました。改めて、長年のご恩ご苦労に感謝申し上げます。

これからは、他の題材を連載できないか、涉外広報部内で検討してまいります。

御笠組ホームページ

<http://www.mikasaso.com/>



ビハーラ・ライン・福岡 ここらの電話 心で語り、知を以て話しあいませんか？ 相談電話 (092)711-1432 毎週月曜日・金曜日 ※祝日は除く 午後1:00～午後4:30 フライハシーは守ります (相談内容) 浄土真宗本願寺派社会福祉推進協議会福岡支部	法律相談 初回相談無料 毎週月曜日～金曜日 午前八時半～午後六時 ※弁護士が相談に応じます 相談専用電話 (092)761-1034 ◎フライハシーは必ず守られます。 問い合わせ 福岡教区教務所 ☎(092)771-9081
---	--